

お手入れ方法

△注意 お手入れや交換のときは必ず差込プラグを抜いてから行ってください。

捕虫ケース、捕虫トレイはお手入れできませんので、汚れ、虫の捕獲状況を確認して定期的に交換してください。

捕虫トレイを使い続けると、捕虫能力が低下します。捕虫トレイ4回に捕虫ケース1回が交換の目安です。

蛍光器具や誘虫ランプのお手入れは、乾いた布などで拭いてください。

シンナー、アルコール、洗剤、クレンザー等は使用しないでください。



故障かな?と思ったら

各部品が正しく取り付けられていても異常が認められた時は下記を参考にしてください。

症状	原因	対策
誘虫ランプが点灯しない 誘虫ランプが点滅する グローランプが作動しない	電源コードの断線 誘虫ランプの寿命 グローランプの寿命 蛍光器具の故障	電源コードの交換 各ランプの点検と交換 蛍光器具の交換

△注意

蛍光器具の分解・修理は行わないでください。

火災、感電の原因となります。

仕様

品名	捕虫器セット	製品寸法	横684×幅61×高さ157mm (捕虫ケース取付時)
型番	MC-400	質量	約970g(電源コード含まず)
誘虫ランプ	20W直管BLランプ 1本	電源コード	2m
電源	100V 50/60Hz		

アフターサービスについて

● 使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントから引き抜いて、使用を中止し、速やかにお求めになった販売店またはお客様ご相談センターへご連絡ください。

ご連絡されるときは、お買い上げの時期および器具の型番をお知らせください。

● 補修用性能部品の保有期間は生産打ち切り後5年です。

注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

交換用サプライ品

型番	部品名	入数
MP-4001	捕虫ケースセット	捕虫ケース(4個) 蛍光器具用マジックテープA(6個)
MP-4002	捕虫トレイセット	捕虫トレイ4個

お客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9 受付時間:月~金の9時~12時/13時~17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く
TEL: 048-931-3110	

株式会社 石崎電機製作所

本社

〒111-0051

東京都台東区蔵前3-5-15

東日本営業所

〒111-0051

東京都台東区蔵前3-5-15

TEL.03-5687-7031

西日本営業所

〒550-0013

大阪市西区新町1-25-7

TEL.06-6541-3893

公式ホームページ



www.sure-ishizaki.co.jp

MC-400_M_J_2303_Rev.B MC-3070-02

捕虫器 ムシキャッチポン(屋内用) MC-400 取扱説明書

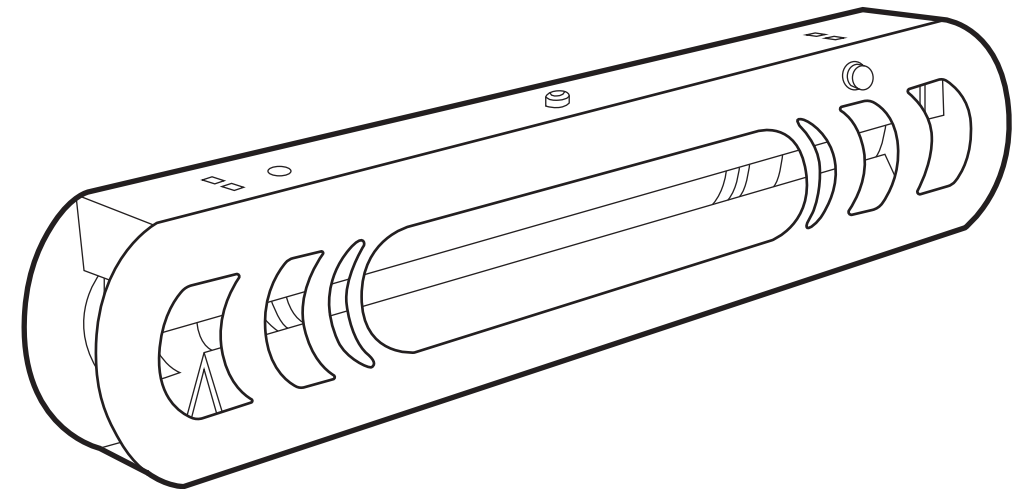
100V

15W

SURE

このたびは捕虫器ムシキャッチポン(屋内用)をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

01~02	安全上のご注意	裏表紙	お手入れ方法
03	各部の名称	裏表紙	故障かな?と思ったら
04	組み立てと取り付け方法	裏表紙	仕様
05	正しい使い方	裏表紙	アフターサービスについて
05	部品の交換		



本器の特徴

- 飛翔昆虫を誘虫ランプで引き寄せ粘着捕虫紙で強力にキャッチします。
 - 紙製の捕虫ケース・捕虫トレイは交換式でお手入れ簡単、清潔です。
 - 捕虫トレイは捕獲面積の広いW形
- ※注意 本器は照明器具ではありません。捕虫専用器としてお使いください。

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。


警告


この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。
※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。

 ①は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。

 ●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わない。または改造しない。
感電、発火、器具損傷や異常動作してけがの原因になります。



次の場所に設置しない。
爆発、火災、落下、感電、絶縁不良、器具の劣化等が発生しけがの原因になります。



- ・爆発物、揮発性引火物等のあるところ
- ・屋外、軒下や風が吹き込むところ
- ・水のかかるところや湿気が多いところ
- ・吊り下げネジがしっかり固定できないところ
- ・ストーブのまわりや真上
- ・長時間直射日光があたる場所
- ・幼児の手の届くところ

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
やけど、感電、けがをする恐れがあります。



注意

交流100V以外で使わない。
火災、感電の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
コードが破損し、火災、感電の原因になります。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電、ショート、発火の原因になります。



使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。けが、やけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。



お手入れのときは、差込プラグを必ずコンセントから抜いて行う。
感電事故の原因になります。



落下などにより本体が破損した場合は、差込プラグを抜いて修理の依頼を行う。
感電事故の原因になります。



濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
感電事故の原因になります。



水につけたり、水をかけたりしない。
ショート、感電の恐れがあります。



誘虫ランプは指定以外使用しない。
器具の変形、故障、火災の原因になります。



点灯中、消灯直後は本体や誘虫ランプに触れない。やけど、火災の原因になります。



殺虫剤やスプレーなどの噴霧は行わない。
器具の変色、悪臭発生の原因になります。



屋内のしっかりした天井または壁に吊り下げて使用する。
感電、落下等の原因になります。



捕虫ケース、捕虫ランプを交換する時は、差込プラグを抜いてから行う。
感電、けがの原因になります。



使用後電源コードを本体に巻き付けない。
コードが破損し、火災、感電の原因になります。



差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。
感電、ショート、発火の原因になります。



差込プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付いているときはよくふく。
火災の原因になります。



正しく配線されたコンセントから電源を取る。
火災の原因になります。



濡れた手で本体を触らない。
感電の原因になります。



照明器具として使用しない。
また、誘虫ランプを長く見続けず、目に障害をおこす原因になります。



指定以外の粘着紙は取付ない。
器具に張り付いたり、火災の原因になります。



誘虫ランプの上にタオル、袋、燃えやすいもの等をかぶせない。
火災、落下、器具の劣化の原因になります。



捕虫トレイの粘着剤が衣服や身体に付着しないように注意する。
万が一身体に付着した場合は、アルコール等で拭き取ってください。



取付けが通路、出入り口の近くなどの場合は、人が触れないところに設置する。
感電、けがの恐れがあります。

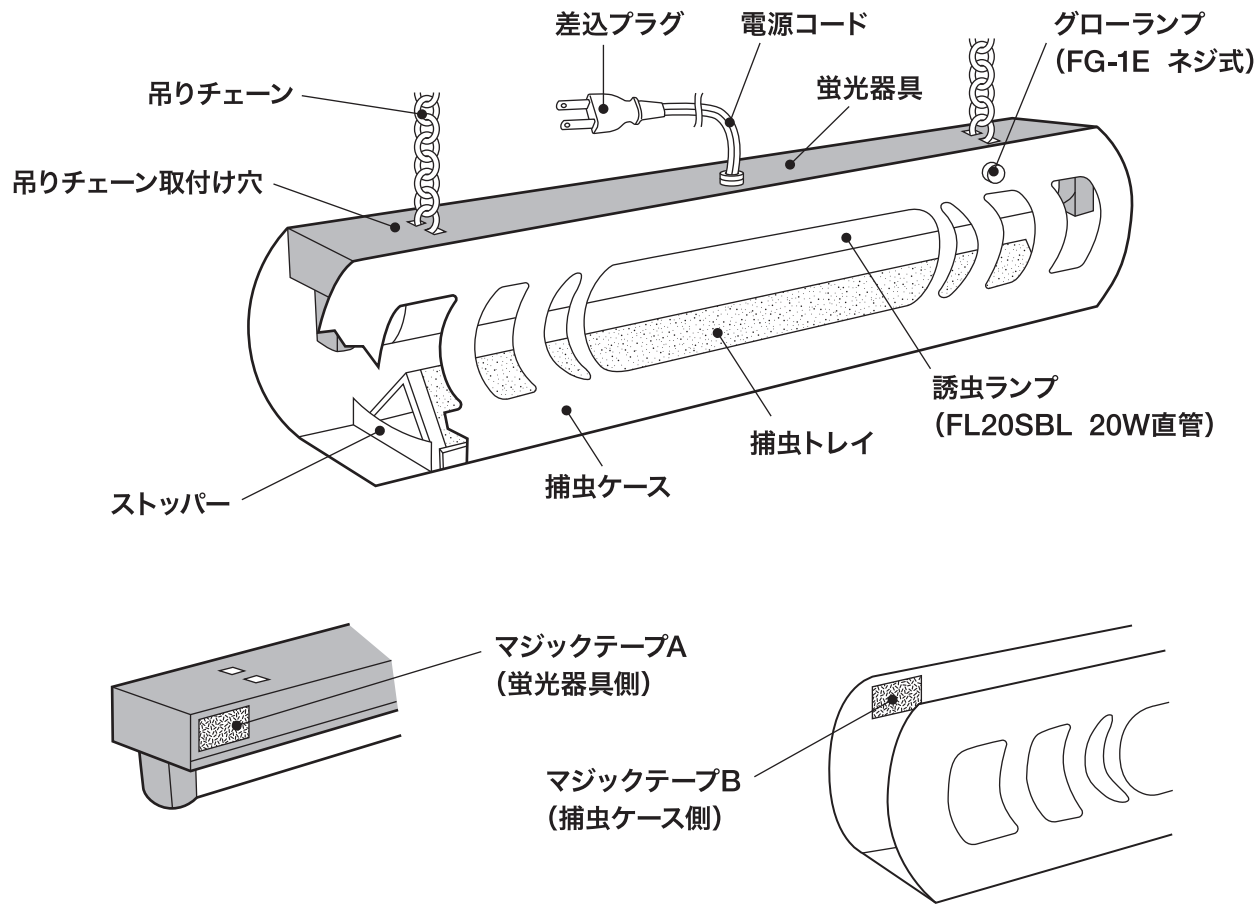


捕虫ランプ、グローランプは指定通りに確実に取り付ける。
感電、けがの原因になります。

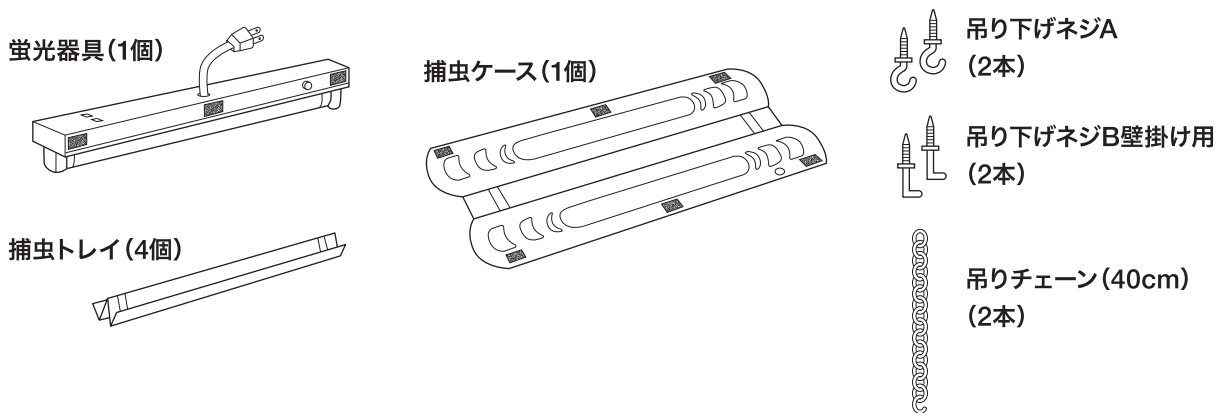


各部の名称

組立完成図



セット内容



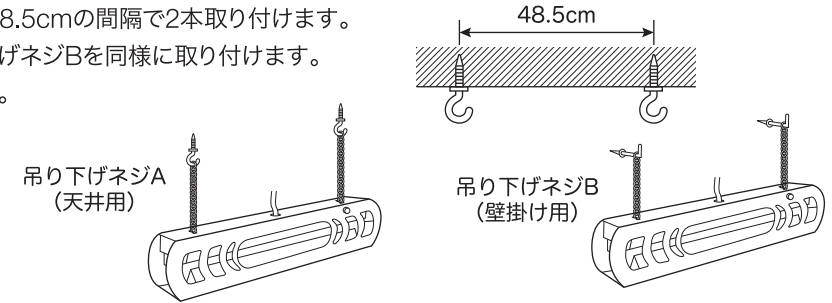
組み立てと取付け方法

吊り下げネジの取り付け方

しっかりした天井や梁に吊り下げネジAを48.5cmの間隔で2本取り付けます。壁掛け式の場合はしっかりした壁に吊り下げネジBを同様に取り付けます。この時本器と壁の間を必ずあけてください。

注意

石膏ボードなど、もろい部分への取り付けは行わないでください。



捕虫ケースの組み立てと取り付け方

●準備する

1. 捕虫ケースに折り目を付ける

表面(印刷面)を裏にして、底部分の折り線2本ともよく折り曲げます。

2. 底面のストッパーを折り曲げる

ストッパーを印刷面から押し込み、ほぼ直角になるようによく折り曲げてください。

注意

ストッパーは捕虫トレイの脱落防止のため、必ず折り曲げてください。捕虫ケースは紙製ですので取り扱いには十分注意してください。

3. 蛍光器具に吊り下げチェーンを取り付ける

蛍光器具の上部のチェーン取り付け穴にチェーンを取り付け、外れないようにペンチなどを使用してしっかり止めます。

4. 蛍光器具の誘虫ランプ固定テープを剥がす

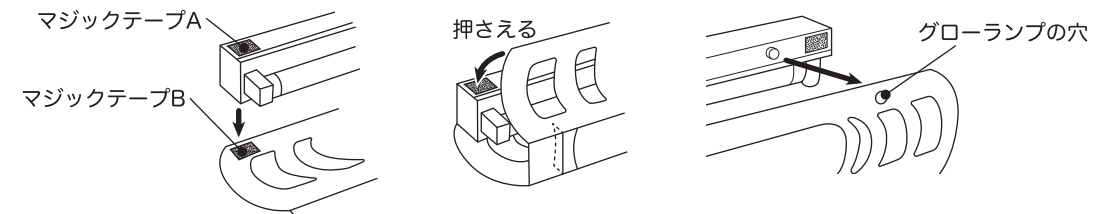
注意 誘虫ランプ・グローランプが正しく取り付けられているか確認してください。

5. 蛍光器具に捕虫ケースを取り付ける

捕虫ケースの印刷面を裏にして広げ、蛍光器具のマジックテープAと捕虫ケースのマジックテープBをずれないようにしっかり押さえて貼り合わせます。

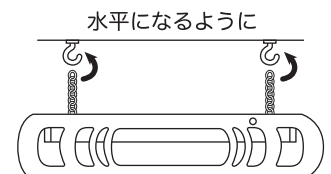
注意

捕虫トレイのグローランプ穴が本体のグローランプ側になるようにしてください。



6. 本器を吊り下げる

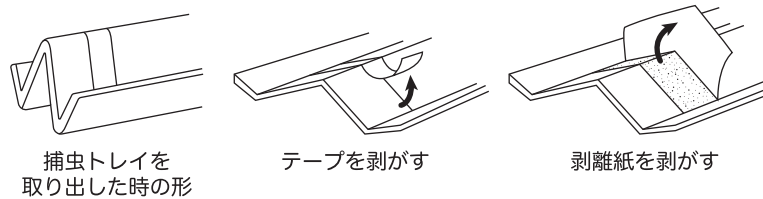
組み立てた本器の吊りチェーンを持って、吊り下げネジに取り付けます。高さ調節は吊り下げチェーンで行ってください。



正しい使い方

捕虫トレイの組み立て方

1. 捕虫トレイを袋から取り出す
2. 粘着紙の両端のテープを剥がす
3. 剥離紙を剥がす



注意 粘着面に触れないように注意してください。

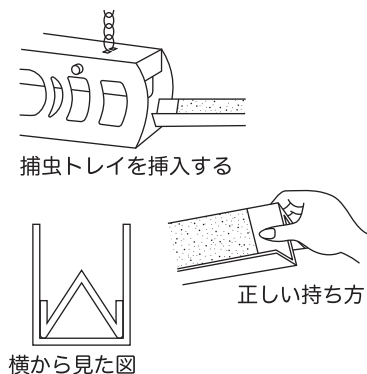
運転を開始する

1. 捕虫トレイを取り付ける

捕虫トレイを捕虫ケースの側面より差し込みます。
必ず立ち上げた左右のストッパーの間に納めてください。

注意 捕虫トレイは右図のように持って捕虫ケースに差し込んでください。
捕虫トレイの粘着面には虫のイラストが印刷されています。
粘着面には触れないでください。

注意 捕虫トレイの粘着力では大きなハエや虫が取れない場合があります。

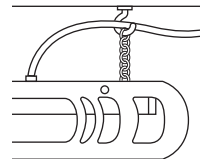


2. 差込プラグを正しく配線されたコンセントに差し込む

電源コードは右図のように吊り下げネジに引っ掛けてください。

注意 電源コードが本器に触れないよう注意してください。

差込プラグをコンセントに差し込むと、誘虫ランプが点灯します。
誘虫ランプ、グローランプの取り付けを確認してください。



運転を停止する

差込プラグを抜く

使わない時や部品を交換する時は、必ず差込プラグをコンセントから抜いてください。

部品の交換

捕虫ケース、捕虫トレイ、誘虫ランプ、グローランプなどはサプライ品として用意されていますので交換の際はご購入ください。
部品交換の際は、必ず差込プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

捕虫ケースの交換

捕虫ケースが汚れたり、破損したら交換してください。

1. 差込プラグを抜き、捕虫トレイを捕虫ケースの側面より抜き取る

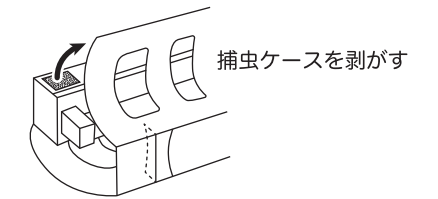
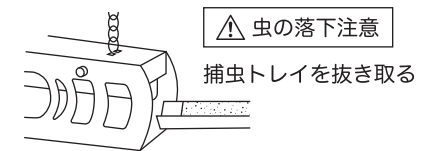
2. 取付位置より本器を外し、蛍光器具から捕虫ケースを剥がす

本器を横向きにして、蛍光器具から捕虫ケースを取り外してください。

注意 誘虫ランプが熱い場合は冷めてから行ってください。

3. 捕虫ケースを取り付ける

4ページの捕虫ケースの組み立て方に従い、新しい捕虫ケースを蛍光器具に取り付けてください。不要になった捕虫ケースは廃棄し、蛍光器具が汚れていたら拭き取るなどしてください。



捕虫トレイの交換

捕虫トレイは定期的に変換してください。

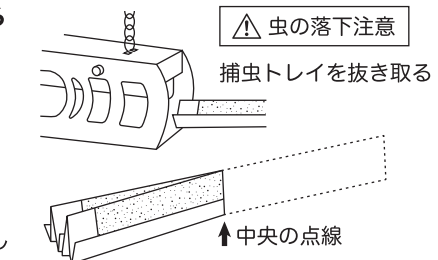
1. 差込プラグを抜き、使用済みの捕虫トレイを捕虫ケースの側面より抜き取る

2. 捕虫トレイを捨てる

捕虫トレイを図のように中央の点線で折って捨ててください。

3. 新しい捕虫トレイを取り付ける

組み立て方は5ページの捕虫トレイの組み立て方、運転を開始するに従い、新しい捕虫トレイを取り付けてください。



誘虫ランプ・グローランプの交換

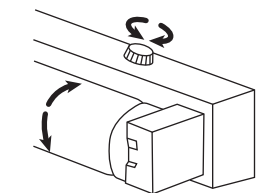
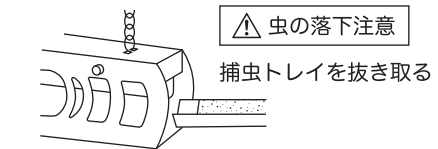
1. 差込プラグを抜き、捕虫トレイを捕虫ケースの側面より抜き取る

2. 本器を取付位置より外す

注意 誘虫ランプが熱い場合は冷めてから行ってください。

3. 古いランプを取り外し、新しいランプを取り付ける

注意 ランプは破損しやすいので、取り扱いにはご注意ください。
けがの原因となります。



製品規格	品番
誘虫ランプ	FL20SBL(20W直管)
グローランプ	FG-1E(ネジ式)

誘虫ランプ及びグローランプは規格品です。上記の品名・品番にて販売店、電気店などでご購入いただけます。